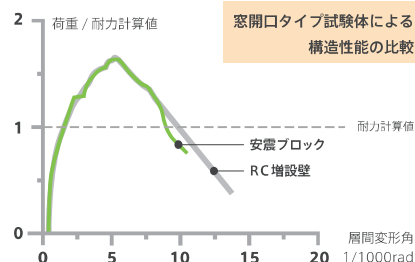




構造性能

フレーム載荷実験をはじめとする各種の構造実験を行い、従来のRC増設壁と同等の耐震補強効果が得られることを確認しました。

右写真、およびグラフはアンカー工法でのフレーム載荷実験結果です。



従来工法との比較

RC増設壁には、大掛かりな型枠やコンクリート打設が必要ですが、安震ブロックは、ブロック内に高流動モルタルを充填するだけなので狭いスペースで施工が可能です。

安震ブロック (RM耐震補強工法)



従来工法 (RC増設壁)



各種耐震補強工法の比較

	RC増設壁	ブレース補強	安震ブロック(RM増設壁)
工 期	△	○	◎
施 工 性	△	△	◎
コ ス ト	○	△	○
耐 力	◎	○	◎
重 量 増	△	○	△

お問い合わせ先

RM耐震補強工法協会

<http://www.rm-taishin.jp/>

事務局 太陽サーブ株式会社

<http://www.taiyo-surv.com/>

〒553-0006
大阪府大阪市福島区吉野 4-22-9
TEL 06-6466-6756 FAX 06-6466-6759

株式会社コンステック
<https://www.constec.co.jp>

技術本部

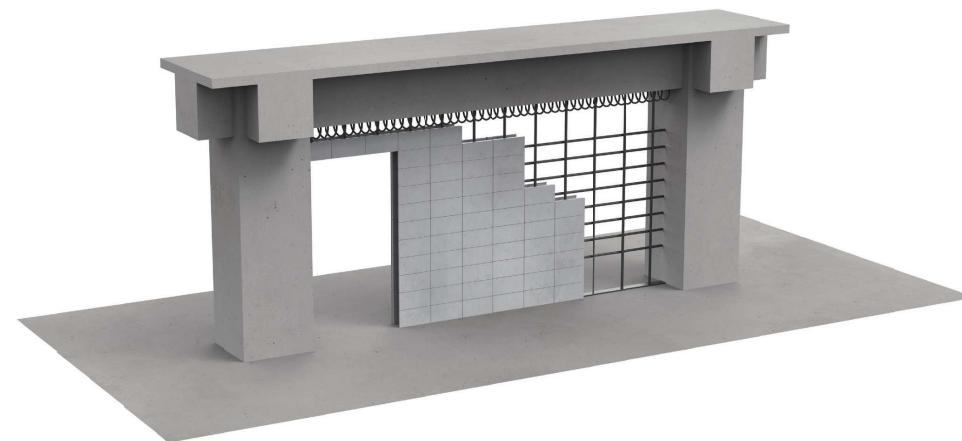
〒143-0006
東京都大田区平和島 6丁目1番1号 東京流通センターアネックス 5階
TEL 03-6450-0634 FAX 03-6450-0635



事業所一覧

安震ブロック

安震ブロックはRMユニットを組積して増設耐震壁とする耐震補強工法です。建物を使用しながら工事を行うことができます。



安震ブロックの4つの特長

1

騒音振動の低減

定着プレートの接着工法、高流動モルタルの使用で、騒音・振動を大きく低減。

2

省スペース

材料置場が小さく、脚立作業でスペース要らず。コンクリートポンプ車も不要。

3

工期短縮

型枠脱型や養生要らず。RMユニットを用いて省力化し、工期も大幅短縮。

4

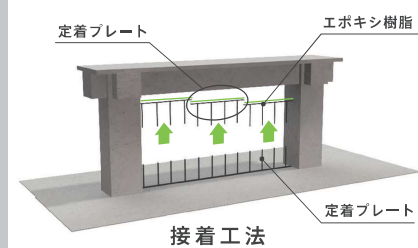
CO₂軽減

型枠材低減、コンクリートポンプ車不要、パイプレーター不要。

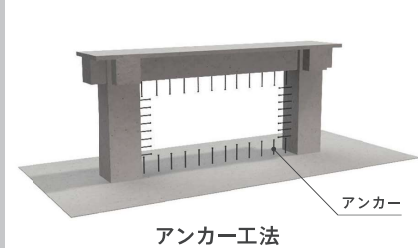


工法分類

接合方式

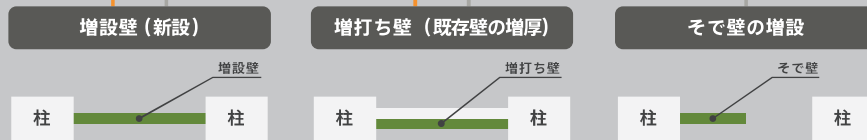


接着工法



アンカー工法

補強形式

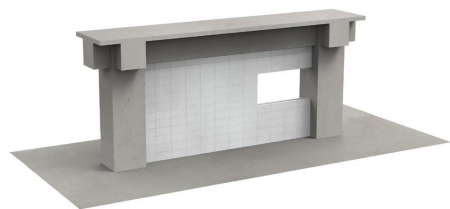


開口の適用範囲

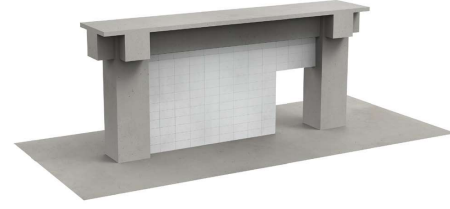
窓・ドア用の開口を設けた増設耐震壁とすることもできます

アンカー工法のみ適用

増設壁 増打ち壁



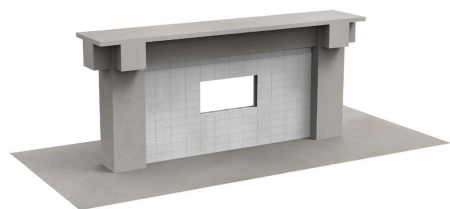
1 辺が柱に接する開口



2 隣辺が柱・梁に接する開口

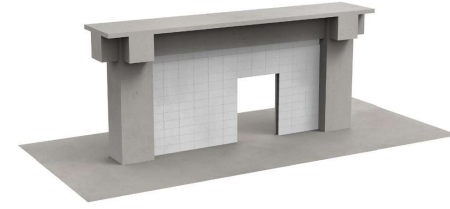
アンカー工法及び接着工法

増設壁 増打ち壁



柱・梁に接しない開口

(注) 接着工法で増打ち壁の場合は不適用



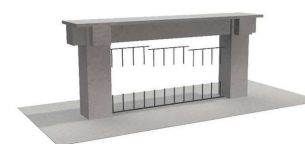
1 辺が梁に接する開口



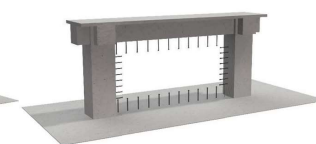
増設壁施工手順

1

定着プレート、またはアンカーを設置します。



接着工法



アンカー工法

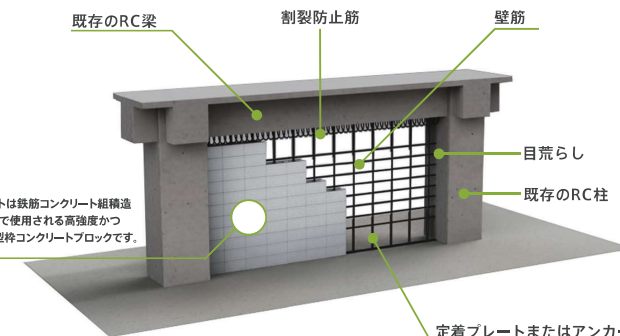
2

RMユニットの組積と壁筋の配筋を行います。



RMユニット

RMユニットは鉄筋コンクリート組積造 (RM構造) で使用される高強度かつ高精度の型枠コンクリートブロックです。



3

充填には流動性の高いモルタルを使用します。



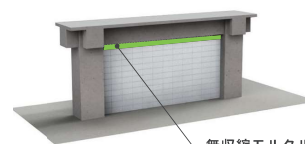
4

RMユニットの内部にモルタルを充填します。



5

壁体上部の隙間に無収縮モルタルを注入します。



無収縮モルタル



6

乾燥収縮ひび割れもなくRMユニットを仕上げ面とすることも可能です。

